

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 45 週（11 月 4 日～11 月 10 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1 人	類型	患者
		血清型	O157
四類感染症 レジオネラ症	1 人	病型	肺炎型
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人	病型	腸管アメーバ症
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3 人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp. 2 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
急性脳炎	1 人	病原体	不明
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人		
梅毒	5 人	病型	早期顕症Ⅰ期 2 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	9 人	年齢階級	6 歳 1 人、7 歳 1 人、 10 歳代 5 人、20 歳代 1 人、 30 歳代 1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

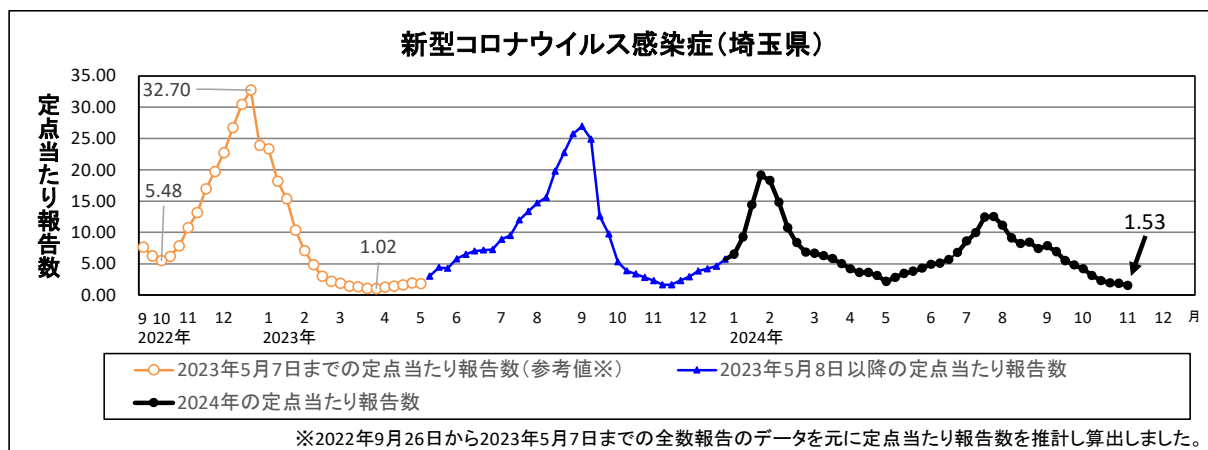
新型コロナウイルス感染症（1.84→1.53：図 1）の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少した。保健所別では、幸手（4.14）保健所管内からの報告が引き続き多い。基幹定点における入院患者の報告は 16 人（前週 24 人）であった。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図 2）は、53 人（前週 64 人）の報告があり、前週の値を下回ったものの多い状況が続いている。年齢階級別では、14 歳以下の患者が全体の約 81%であった。手足口病（11.70*→7.96：図 3-1, 2）の定点当たり報告数は、第 42 週以降減少傾向にあるが、依然として多い状況にある。保健所別では、南部（15.00）、川口市（13.54）保健所管内からの報告が引き続き多い。伝染性紅斑（1.08→1.13：図 4-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、やや多い状況にある。保健所別では、引き続き南部（5.00）保健所管内からの報告が非常に多く、さいたま市（2.61）保健所管内からの報告も多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 25 人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、インフルエンザ（入院）2 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第45週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移

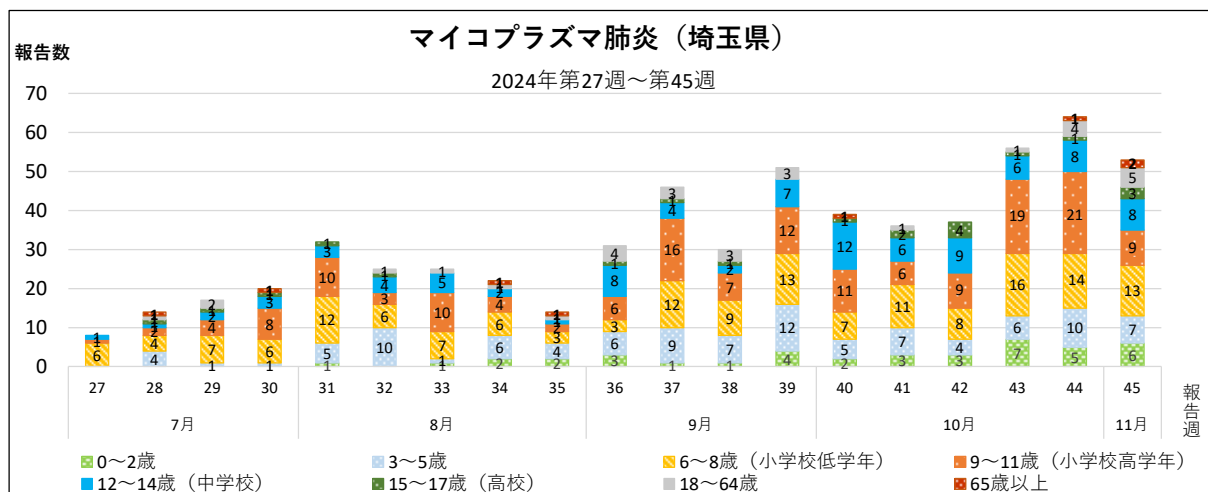


図3-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

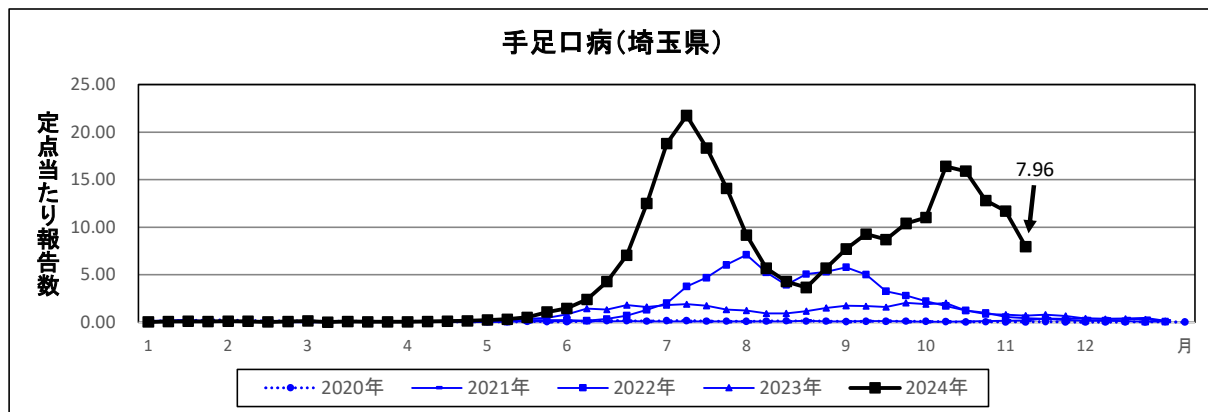


図 3-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 43 週～第 45 週)

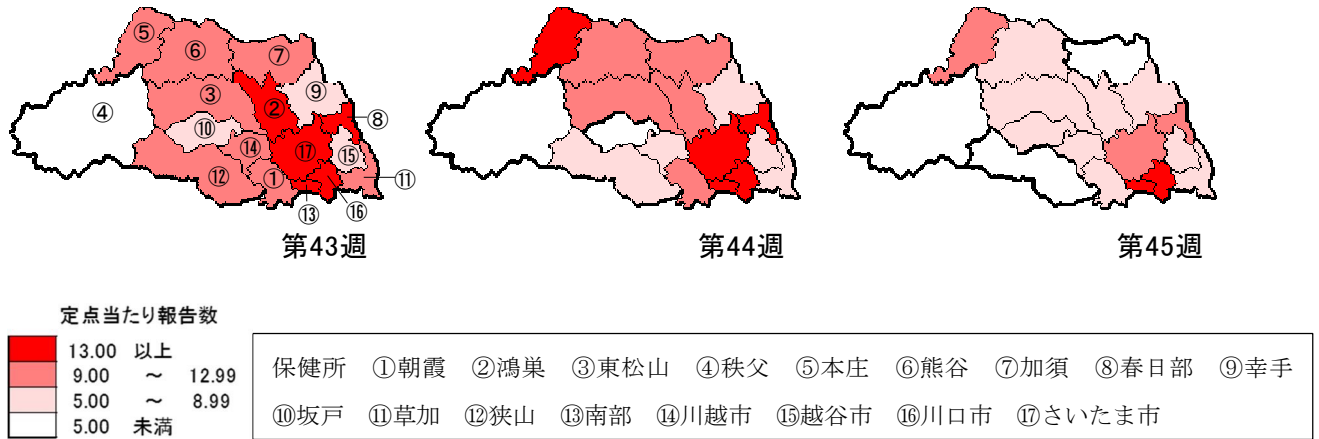


図 4-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

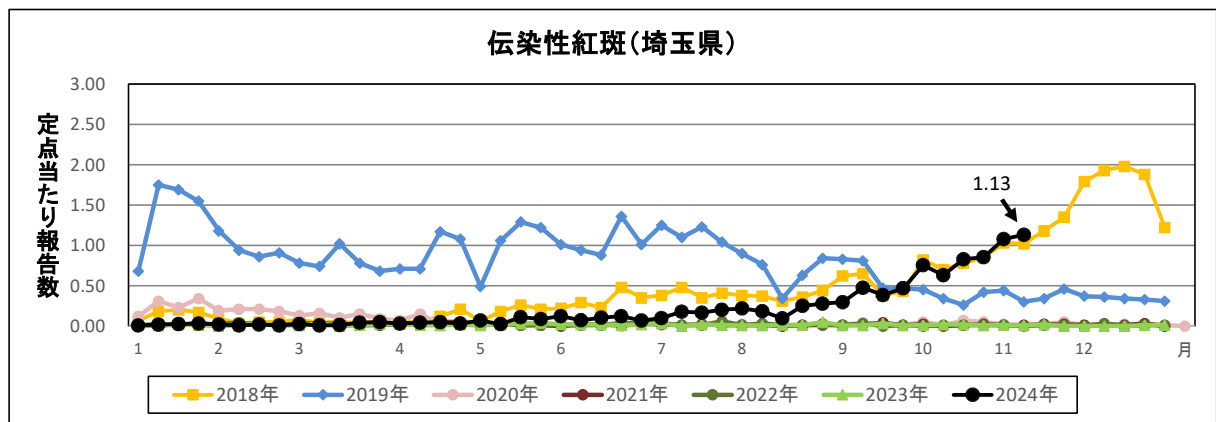
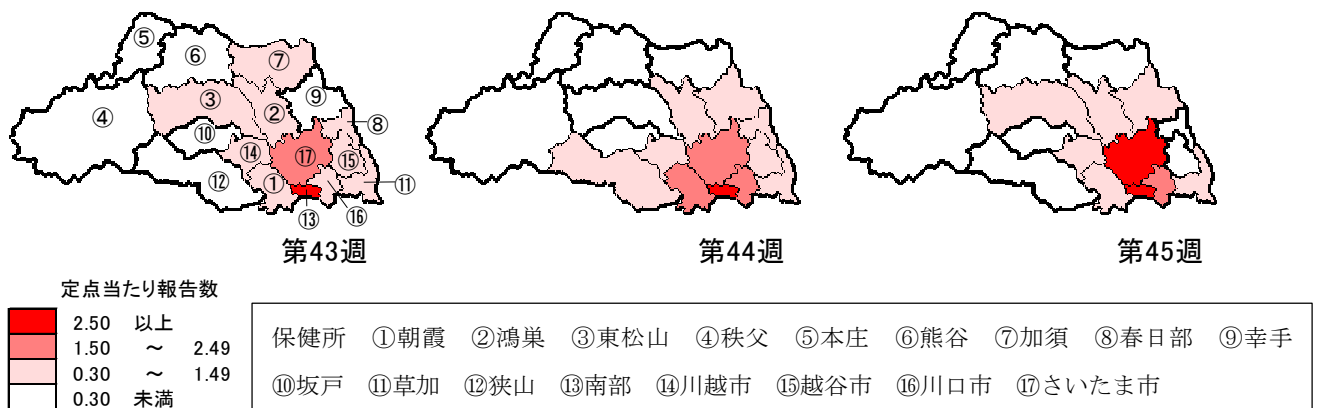


図 4-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 43 週～第 45 週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第45週)

(2024年11月12日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	151			
四類感染症					
E型肝炎		34	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	1	111
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	22	侵襲性肺炎球菌感染症	1	78
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		16	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	88	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	5	394
急性脳炎	1	23	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		101	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		29	百日咳	9	135
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		20	麻しん		8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第45週

11月4日～11月10日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数	238	391	22	43	287	422	44	1,281	182	38	31	7	1	25	-	1	53	-	-	2	16
	定点当たり	0.93	1.53	0.14	0.27	1.78	2.62	0.27	7.96	1.13	0.24	0.19	0.04	0.02	0.60	-	0.08	4.42	-	-	0.17	1.33
朝 霞	報告数	32	28	-	5	36	45	6	98	19	3	2	1	-	2	-	1	7	-	-	-	-
	定点当たり	1.39	1.22	-	0.33	2.40	3.00	0.40	6.53	1.27	0.20	0.13	0.07	-	0.50	-	1.00	7.00	-	-	-	-
鴻 巣	報告数	21	46	1	3	24	23	3	104	7	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.11	2.42	0.08	0.25	2.00	1.92	0.25	8.67	0.58	0.25	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	2	10	-	-	3	17	-	35	5	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	定点当たり	0.25	1.25	-	-	0.60	3.40	-	7.00	1.00	0.20	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-
秩 父	報告数	2	12	2	3	2	-	-	6	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.40	2.40	0.67	1.00	0.67	-	-	2.00	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	1	9	-	-	-	-	6	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.14	1.29	-	-	-	-	1.50	9.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数	17	15	-	1	22	19	2	45	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	1.31	1.15	-	0.13	2.75	2.38	0.25	5.63	0.25	0.25	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
加 須	報告数	3	10	1	-	3	7	-	19	1	2	-	1	-	2	-	-	3	-	-	-	-
	定点当たり	0.33	1.11	0.20	-	0.60	1.40	-	3.80	0.20	0.40	-	0.20	-	2.00	-	-	3.00	-	-	-	-
春 日 部	報告数	20	17	6	-	11	24	-	61	-	3	-	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.00	1.70	1.00	-	1.83	4.00	-	10.17	-	0.50	-	-	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	16	58	1	12	24	5	1	63	10	1	-	1	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.14	4.14	0.11	1.33	2.67	0.56	0.11	7.00	1.11	0.11	-	0.11	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	11	14	1	-	8	15	2	31	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	1.10	1.40	0.17	-	1.33	2.50	0.33	5.17	-	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
草 加	報告数	14	45	1	2	8	26	6	77	4	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.78	2.50	0.09	0.18	0.73	2.36	0.55	7.00	0.36	0.27	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	30	47	2	-	29	28	8	62	1	7	1	2	1	3	-	-	6	-	-	-	-
	定点当たり	1.25	1.96	0.13	-	1.93	1.87	0.53	4.13	0.07	0.47	0.07	0.13	0.20	0.60	-	-	6.00	-	-	-	-
南 部	報告数	1	12	-	3	28	30	-	75	25	2	20	1	-	-	-	-	5	-	-	-	1
	定点当たり	0.13	1.50	-	0.60	5.60	6.00	-	15.00	5.00	0.40	4.00	0.20	-	-	-	-	5.00	-	-	-	1.00
川 越 市	報告数	11	14	-	2	13	13	6	44	7	1	2	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.79	1.00	-	0.25	1.63	1.63	0.75	5.50	0.88	0.13	0.25	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	13	14	-	2	5	18	2	65	2	1	1	-	-	-	-	-	18	-	-	1	1
	定点当たり	1.00	1.08	-	0.25	0.63	2.25	0.25	8.13	0.25	0.13	0.13	-	-	-	-	-	18.00	-	-	1.00	1.00
川 口 市	報告数	23	15	3	5	29	84	1	176	26	2	2	-	-	3	-	-	6	-	-	1	3
	定点当たり	1.21	0.79	0.23	0.38	2.23	6.46	0.08	13.54	2.00	0.15	0.15	-	-	0.75	-	-	6.00	-	-	1.00	3.00
さいたま市	報告数	21	25	4	5	42	68	1	282	73	7	2	-	-	10	-	-	6	-	-	-	5
	定点当たり	0.50	0.60	0.14	0.18	1.50	2.43	0.04	10.07	2.61	0.25	0.07	-	-	1.11	-	-	6.00	-	-	-	5.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第45週 11月4日～11月10日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	238	2	1	6	13	5	6	8	6	7	10	4	47	24	15	15	30	17	13	6	3	
新型コロナウイルス感染症	391	5	5	6	2	4	2	2	5	2	4	5	20	30	34	36	26	53	46	58	46	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	22	4	3	8	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	43	-	-	6	6	4	6	4	2	3	1	4	4	2	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	287	-	-	2	14	22	33	22	27	28	31	23	56	12	17							
感染性胃腸炎	422	5	27	41	36	33	39	36	30	31	29	20	62	7	26							
水痘	44	1	1	-	1	-	1	3	4	5	4	8	15	-	1							
手足口病	1,281	6	37	177	164	190	194	155	125	67	58	34	50	9	15							
伝染性紅斑	182	1	3	8	12	24	20	22	15	25	27	13	12	-	-							
突発性発しん	38	-	8	20	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	31	-	1	4	9	4	4	5	3	-	1	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	-	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	25	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2	10	6	2	-	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	53	1	10	17	15	3	1	1	1	1	-	-	1	-	-	-	2					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
新型コロナウイルス感染症(入院)	16	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	1	-	-	2	10					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第43週 (10月21日～10月27日)

令和6年11月13日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.11)、大分県(2.31)、静岡県(1.56)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は77例と前週と比較して増加した。都道府県別では27都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(21例)、10代(9例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(2例)、50代(5例)、60代(2例)、70代(13例)、80歳以上(21例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(3.87)、岩手県(3.13)、長野県(3.07)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は801例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(20例)、1～9歳(23例)、10代(8例)、20代(2例)、30代(6例)、40代(22例)、50代(33例)、60代(68例)、70代(196例)、80歳以上(423例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(0.67)、山形県(0.64)、宮城県(0.60)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.69)、山形県(0.68)、北海道(0.53)、鳥取県(0.53)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(4.57)、愛媛県(3.19)、北海道(3.17)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.42)、宮崎県(5.75)、徳島県(5.17)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(20.36)、宮城県(18.36)、愛媛県(18.33)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は東京都(1.10)、神奈川県(1.02)、埼玉県(0.85)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(0.93)、佐賀県(0.91)、鹿児島県(0.82)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岡山県(0.11)、沖縄県(0.09)、岩手県(0.08)、群馬県(0.08)である。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第35週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛知県(5.40)、福井県(5.33)、青森県(5.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。広島県から1例報告があり、年齢別では5～9歳であった。

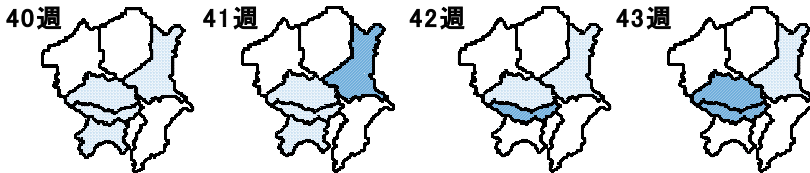
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第43週(10月21日～10月27日):通巻第26巻 第43号 より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、東京都(4.84)、埼玉県(4.67)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎

- 3.50 以上
- 2.00 ～ 3.50
- 2.00 未満



2024年 43週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	4,298	1,312	146	61	70	145	237	346
	定点当たり	0.87	0.86	1.22	0.80	0.82	0.56	1.16	0.96
新型コロナウイルス感染症	報告数	8,359	2,508	291	133	149	502	417	525
	定点当たり	1.69	1.64	2.43	1.75	1.75	1.92	2.04	1.17
RSウイルス感染症	報告数	743	193	15	20	5	40	17	44
	定点当たり	0.24	0.20	0.20	0.42	0.09	0.24	0.13	0.20
咽頭結膜熱	報告数	677	159	27	6	8	46	13	20
	定点当たり	0.22	0.17	0.36	0.13	0.15	0.28	0.10	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,098	1,860	207	73	46	356	375	499
	定点当たり	1.94	1.94	2.76	1.52	0.87	2.17	2.95	1.90
感染性胃腸炎	報告数	8,359	2,390	158	62	154	471	381	723
	定点当たり	2.66	2.49	2.11	1.29	2.91	2.87	3.00	2.75
水痘	報告数	623	234	21	8	17	36	37	62
	定点当たり	0.20	0.24	0.28	0.17	0.32	0.22	0.29	0.24
手足口病	報告数	25,277	9,821	527	566	613	2,103	1,573	2,373
	定点当たり	8.06	10.24	7.03	11.79	11.57	12.82	12.39	9.02
伝染性紅斑	報告数	1,028	803	15	11	12	140	101	290
	定点当たり	0.33	0.84	0.20	0.23	0.23	0.85	0.80	1.10
突発性発しん	報告数	832	221	14	6	19	47	25	58
	定点当たり	0.27	0.23	0.19	0.13	0.36	0.29	0.20	0.22
ヘルパンギーナ	報告数	775	284	37	8	11	71	46	70
	定点当たり	0.25	0.30	0.49	0.17	0.21	0.43	0.36	0.27
流行性耳下腺炎	報告数	89	23	1	1	4	4	1	6
	定点当たり	0.03	0.02	0.01	0.02	0.08	0.02	0.01	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	10	4	2	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.01	0.02	0.13	-	-	0.02	-	0.03
流行性角結膜炎	報告数	343	131	20	5	5	15	17	23
	定点当たり	0.49	0.63	1.25	0.42	0.36	0.36	0.49	0.59
細菌性髄膜炎 #2	報告数	15	5	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	-	-	0.20
無菌性髄膜炎	報告数	19	8	1	-	-	1	-	3
	定点当たり	0.04	0.09	0.08	-	-	0.11	-	0.12
マイコプラズマ肺炎	報告数	1,195	270	44	11	15	56	7	121
	定点当たり	2.49	3.10	3.38	1.57	1.67	4.67	0.78	4.84
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	1	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.14	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

10月は麻しんの検体が93検体（32症例）採取され、麻しんウイルス（遺伝子型D8）が17検体（7症例）から検出されました。手足口病の検体からは5～7月はコクサッキーウイルスA6型が最も多く27件検出されましたが、8～10月はコクサッキーウイルスA16型が最も多く10件検出されています。

細菌検出状況

三類感染症

令和6年10月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(10月分)
		8月	9月	10月	
細菌性赤痢	赤痢菌		2 (1)		
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	15	10	5	H7(VT2):2、H7(VT1&2):3
	腸管出血性大腸菌O111	1		1	H-(VT1&2):1
	腸管出血性大腸菌その他	8	4	2	O103:H2(VT1):1、OUT:H21(VT1):1

細菌性赤痢に関しては、()内に海外感染例を掲載

四類感染症

令和6年10月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(10月分)
		8月	9月	10月	
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1	2	2	2	
	<i>Legionella</i> spp. (LAMP陽性)	1	2	1	
	その他レジオネラ属菌		3*		
レプトスピラ症	<i>Leptospira interrogans</i>		1		

*1症例から2つの血清群 (*L.pneumophila* SG2及び*L.pneumophila* SG3) が検出された例を含む

五類感染症(全数把握)

令和6年10月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(10月分)
		8月	9月	10月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>	8	3		
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		1		
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	2	3	3	
	<i>Escherichia coli</i>	1	1		
	その他CRE	2	1	1	<i>Citrobacter freundii</i> complex:1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌 (<i>Streptococcus pyogenes</i>)	4	3		
	B群レンサ球菌 (<i>Streptococcus agalactiae</i>)		1	2	
	C群レンサ球菌	3		1	<i>Streptococcus canis</i> :1

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

四類感染症

令和6年11月5日 現在(累計: 令和6年1月～)

臨床診断名	ウイルス	採取月			
		8月	9月	10月	累計
E型肝炎	検体数	4	6	1	43
	E型肝炎	2	1		22
A型肝炎	検体数	1	1		17
	A型肝炎				3
エムボックス	検体数				1
	エムボックス				
重症熱性血小板減少症候群	検体数			1	1
	SFTS				
デング熱	検体数	2	5		16
	デング		5		9

五類感染症

令和6年11月5日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	ウイルス 採取月 検体合計数	8月	9月	10月	累計	その他のウイルス
		8	17	111	277	
ウイルス性肝炎 (E型及びA型を除く)	検体数 エコー 11			5 3	5 3	
急性弛緩性麻痺	検体数 エンテロ D68		6		6	ヒトヘルペス 6(1), ヒトヘルペス 7(1)
急性脳炎 (四類以外)	検体数	2	3	7	46	
	コクサッキー A6			1	1	
	コクサッキー A10			2	2	
	ライノ			1	1	
	サイトメガロ			4	4	
	ヒトヘルペス 6	1		2	2	
	インフルエンザ AH1pdm09			1	1	
	パラインフルエンザ 3			1	1	
	アデノ 1			2	2	
	アデノ 2			2	2	
アデノ 3			2	2		
アデノ nt			1	1		
検査中			6	6		
水痘 (入院例)	検体数 水痘帯状疱疹			2 2	2 2	
風しん	検体数 風しん			6	15	
麻疹	検体数 麻疹	6	8	93 17	205 17	麻疹(ワクチン株)(1), ヒトパルボ B19(3)

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ

令和6年11月5日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	採取月 検体合計数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		インフルエンザ	130	75	59	28	9	5	4	5	11	6			
インフルエンザ AH1pdm09	20	5	4	5	6	4	1	3	8	3				59	
インフルエンザ AH3	50	8	6	2	2			1						72	
インフルエンザ B(ビクトリア)	55	59	46	19						2				181	
検査中											2			2	

急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランスの結果を含む

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

令和6年11月5日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	採取月 検体合計数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		RSウイルス 感染症	16	6	18	16	24	35	36	32	64	53			
咽頭結膜熱	検体数 アデノ 3	1					3							4	アデノ nt(1), コクサッキー A10(1)
感染性胃腸炎	検体数	8	5	7	2	4	5	8	2	4				45	
	ノロ	5	2	5	2	1	1	1						17	アデノ 40/41(1), アデノ 3(1), アデノ nt(1), コクサッキー A6(2), エコー 11(1), パレコ(2), ライノ(6)
	サポ	2		1	1	1	1							6	
	アストロ													3	
	ロタ(A)										1			1	
検査中										1			1		
手足口病	検体数	1				13	14	11	8	11	7			65	
	コクサッキー A6					10	9	8	1					28	
	コクサッキー A10						2	1	2					5	ライノ(3), EB(2), サイトメガロ(1)
	コクサッキー A16							1	1	8	1			10	
	エンテロ A71						1			1	1			3	
検査中										5			5		
伝染性紅斑	検体数							1	2		1			4	
	ヒトパルボ B19							1	1					2	
突発性発しん	検体数							3	2	2				7	
	ヒトヘルペス 6							1	2		1			3	
ヒトヘルペス 7								1		1				2	
ヘルパンギーナ	検体数			1	3		7	6		2				19	コクサッキー B5(1), エコー 11(1), ライノ(2), アデノ 1(1)
	コクサッキー A4				1									1	
	コクサッキー A6				1		1	4						6	
コクサッキー A10							3						3		
流行性 角結膜炎	検体数	1			2	1	2							6	
	アデノ 3													1	
	アデノ 37	1				1	1							2	
	アデノ 56				1									1	
無菌性髄膜炎	検体数	5	1	10	5	4		4	18	45	45			137	
	コクサッキー A6								1					1	
	コクサッキー A16								1					1	
	コクサッキー B2								2					2	
	コクサッキー B3									7	3			10	
	コクサッキー B5									3				3	
	エコー 11									4	3			12	
	エンテロ A71								5	4	3			8	
	パレコ									5	3			8	
	ライノ									1				1	
	ボカ	10	14	11	18	26	17	16	5	8	7			132	
	パラインフルエンザ 1	1			1	10	8	6	2	1				30	
	パラインフルエンザ 2		2	4	1	5	3	1						16	
パラインフルエンザ 3					4	19	16	10		1			50		
エンテロ						2	4	3	16	11			36		
アデノ	10	9	5	2	10	4	4	4	2	4			46		
マイコプラズマ			3				3	5	4	4			19		
検査中									6	29			35		

急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランス

令和6年11月5日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	採取月 検体合計数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
		新型コロナウイルス	330	259	236	133	161	168	175	130	181	94		
インフルエンザ AH1pdm09	128	96	99	23	53	78	86	66	80	12				721
インフルエンザ AH3	21	6	7	5	6	4	3	3	9	4				68
インフルエンザ B(ビクトリア)	49	8	6	2	2		3	1	1					72
ヒトメタニューモ	56	60	48	21	2		2		2					187
RS	7	9	10	5	1	1	4	1	2	3				43
コロナ HKU1	4	9	7	14	5	10	7	4	3	4				67
コロナ NL63			1	1										2
コロナ OC43	3	10	6	1	1	1								22
コロナ 229E	2	1			1	1								5
パレコ			3	1										6
ライノ						1	1	1	1					4
ボカ	10	14	11	18	26	17	16	5	8	7				132
パラインフルエンザ 1	1			1	10	8	6	2	1					30
パラインフルエンザ 2		2	4	1	5	3	1							16
パラインフルエンザ 3					4	19	16	10		1				50
エンテロ						2	4	3	16	11				36
アデノ	10	9	5	2	10	4	4	4	2	4				46
マイコプラズマ			3				3	5	4	4				19
検査中									6	29				35

伝染性紅斑について

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 (PVB19) による流行性の発疹性疾患で、小児にみられる両頬の蝶形紅斑から、リンゴ病とも呼ばれています。感染症法では小児科定点報告疾患として五類感染症に指定されています。

2019 年までは、およそ 4~5 年ごとに 2 年にわたる流行期と 2~3 年の非流行期の繰り返しが多くみられました。新型コロナウイルス感染症の流行が始まった 2020 年以降、伝染性紅斑の定点当たり報告数は、それ以前の非流行期の定点当たり報告数に比べ、非常に低い水準で推移してきました。ところが、2024 年第 20 週 (5/13-5/19) に定点当たり報告数が 4 年ぶりに 0.1 を超え、その後は増減を繰り返しながら第 44 週 (10/28-11/3) には 1.0 を超えるに至っています。

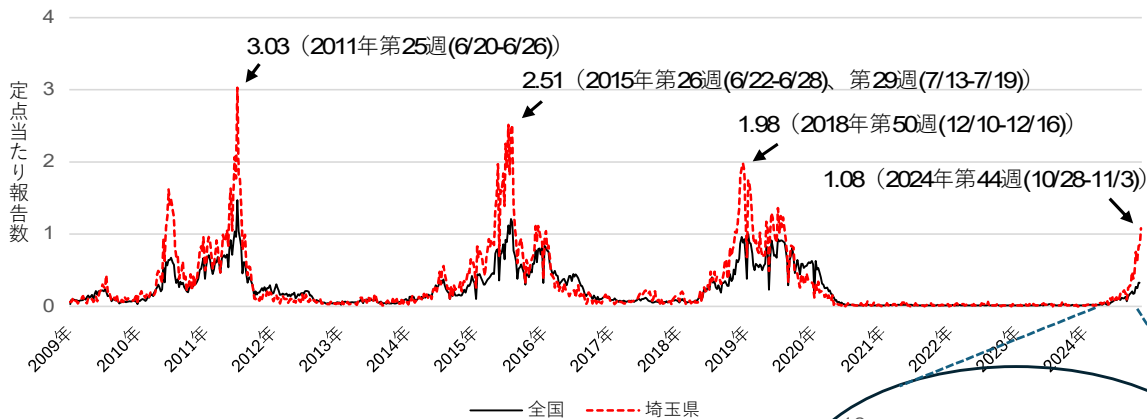


図 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移 (全国・埼玉県)

伝染性紅斑の特徴的な症状は、10~20 日の潜伏期の後に出現する紅斑です。典型的には顔面の蝶型紅斑と、四肢に両側対称的に遠心性に網目状・レース様の発疹で、体幹にも出現することがあります。

小児に多い疾患ですが、成人も罹患します。成人の場合は症状が多彩で、関節痛や頭痛などを訴えることがあります。頬に発疹が出現する 7~10 日くらい前に微熱や感冒様症状などの前駆症状が見られることが多く、この時期にウイルス血症を起こしており、ウイルスの体外への排泄量が最も多くなるため、まわりに感染しやすくなります。発疹の出現前から周囲への感染の広がり

に注意が必要となります。

発疹の出現前に軽度の発熱を認める場合もあるため、発熱後に発疹が出現する他の感染症との鑑別にも注意が必要です。

警報開始基準値は 2.0 となっています。すでに 1.0 を超えて例年と比べて多い値となっているため、今後の患者の流行状況に注意が必要です。

感染症発生動向調査
2024年

- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

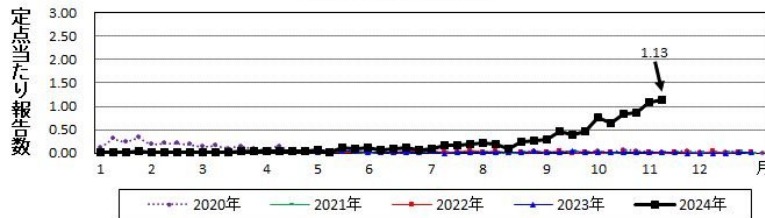
感染症の流行状況 2024年 第45週

2024年第45週（11月4日～11月10日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、やや多い状況にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

伝染性紅斑(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★	手足口病	↓	★★★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★★★
RSウイルス感染症	↓	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	ヘルパンギーナ	↓	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↑	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

